

平成30年度 事業計画書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

助成事業活動計画：

平成30年度 助成事業一覧

[単位：千円]

項目	H30年												H31年			備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計			
〔研究助成〕 公1																
画像科学奨励賞（優秀賞）												4000	4,000	4件		
同												5000	5,000	10件		
同（連携賞）												2000	2,000	2件		
《 小 計 》	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11000	11,000			
〔学会助成〕 公2																
日本写真学会		500											500	コニカミノルタ写真研究奨励金		
日本画像学会												550	日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞			
日本光学会								500					500	光みらい奨励金		
日本医用画像工学会			300										300	ハンスオンセミナー		
医用画像情報学会			300										300	ティーブライニングセミナー		
〔大学研究助成〕 公4																
東京工芸大学 奨学助成金								1000					1,000			
《 小 計 》	0	500	600	0	0	0	0	1500	0	0	0	550	3,150			
〔国際会議の助成〕 公3																
OPTICS & PHOTONICS (OPIC2018)	300												300	4/23-27、横浜		
第19回無機・有機EL (EL2018)			300										300	9/11-13、東京		
第11回光設計・製造 (ODF2018)									300				300	11/28-30、広島		
第12回国際高分子会議 (IPC2018)							300						300	12/4-7、広島		
《 小 計 》	300	0	300	0	0	0	300	0	300	0	0	0	1,200			
助 成 金 合 計	300	500	900	0	0	0	300	1500	300	0	0	11550	15,350			

1. 研究に対する助成（定款第4条第1項第1号）

- ・第25回コニカミノルタ画像科学奨励賞（計1100万円；29年度実績1250万円）

「光と画像領域でのイノベーション創出」を基本コンセプトに、奨励賞（優秀賞）、奨励賞、連携賞を公募いたします。昨年から新たに設けた連携賞は、光と画像領域と異分野の研究の融合によるイノベーション創出を期待して、複数の研究者が1ユニットとして応募できる賞です。

奨励賞（優秀賞）	4件程度・助成金各100万円（400万円）
奨励賞	10件程度・助成金各50万円（500万円）
奨励賞（連携賞）	2件程度・助成金各100万円（200万円）

2. 研究機関、学会及び研究会に対する助成（定款第4条第1項第2号）

1) 学会助成

（計 215 万円；29 年度実績 205 万円）

『光と画像』の領域を研究対象としている5学会へ研究助成を計画しました。平成30年度から新たに助成申請のあった医用画像情報学会（MII）を追加しました。医用画像は昨今注目を浴びているAIとディープラーニングの先端的研究を行っている分野です。昨年からは日本医用画像工学会（JAMIT）を助成先に加えましたが、JAMITは工学系の学生の参加者が多く、MIIは医学部保健学会系の先生方と学生が中心の学会です。助成金を各々30万円として、若手研究者の支援と事業拡大の観点から計画に加えました。

（一社）日本写真学会	助成金：50万円、時期：5月、「コニカミノルタ写真研究奨励金」として1名に実施予定
（一社）日本画像学会	助成金：55万円、時期：3月、「日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞」として1名に実施予定
（一社）日本光学会	助成金：50万円、時期：11月、「コニカミノルタ光みらい奨励金」として計3名に実施予定
日本医用画像工学会	助成金：30万円、時期：6月 日本医用画像工学会大会にて「コニカミノルタ科学技術振興財団ハンズオンセミナー」を実施予定
医用画像情報学会	助成金：30万円、時期：6月と11月に「コニカミノルタ科学技術振興財団ディープラーニングセミナー」（仮）を実施予定

2) 大学研究助成

（計 100 万円；29 年度実績 100 万円）

東京工芸大学は工学部・芸術学部の連携を推進しているユニークな大学です。工・芸を連携した同校の研究を当財団の主な対象領域である光と画像の応用分野と位置付けて、29年度並みに計画しました。

東京工芸大学	助成金：100万円、時期：11月、「コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励金」（50万円）として、工・芸両学部の優れた研究に2件の助成を行う（工・芸の共同研究を含む）
--------	---

3. 国際会議、シンポジウム及び研究集会の開催に対する助成（定款第4条第1項第3号）

・国際会議の助成（計 120 万円；29 年度実績 90 万円）

画像・光学・医療・材料等の領域より、100名以上（目途）が参加する国際会議に助成することを基本にしています。公益法人化以降、国際会議への助成は3～4件としています。30年度は応募が4件あり、選考委員会で検討した結果、いずれも助成に値すると判断し、4件実施する方向で計画しました。

国際会議助成先案	助成金額	国際会議の内容
OPTICS & PHOTONICS International Congress 2018 (OPIC2018)	30万円	時期：平成30年4月23～27日 会場：パシフィコ横浜 参加人数：約1,400名（内、海外から約560名）

第19回無機・有機EL国際ワークショップ(EL2018)及び2018発光型ディスプレイ及び照明の科学と技術に関する会議	30万円	時期：平成30年9月11～13日 会場：東京、明治大学アカデミーコモン 参加人数：約300名（内、海外から約120名）
第11回光設計・製造を中心とした国際会議(ODF'18)	30万円	時期：平成30年11月28～30日 会場：広島国際会議場 参加人数：約350名（内、海外から約170名）
第12回国際高分子会議(IPC2018)	30万円	時期：平成30年12月4～7日 会場：広島国際会議場 参加人数：約750名（内、海外から約200名）

以上